



南小だより

鶴岡市立櫛引南小学校
発行日 令和5年11月27日

創立60周年記念「ふれあい祭」

11月11日（土）に創立60周年記念のふれあい祭と記念式典を行いました。3年生の明るく元気な開会の言葉で幕が開き、どの学年もこれまでの練習の成果を存分に発揮しながら、観る人聴く人に伝わるようにと一生懸命に発表しました。実りの秋にふさわしいとても素敵なふれあい祭になったと思います。今回は、その様子をお伝えします。

オープニングは和太鼓クラブの「流星太鼓」。クラブの時間だけでなく休み時間も練習に励み、息の合った力強いバチさばきで迫力のある演奏を聴かせてくれました。

続いてはダンスクラブ7名による踊りの発表。SEKAI NO OWARIの曲『Habit』に合わせ、自分達で考えた振り付けを、息ぴったり元気いっぱい披露してくれました。

3年生は「チャレンジ」をテーマに、歌と合奏を披露しました。明るい歌声と8人が気持ちを一つにしての演奏は、聴く人の心に響く3年生らしいとても素敵な発表でした。

1年生は元気でかわいらしい歌とダンスを披露しました。友だちと息を合わせたり動きを合わせたりしながら一生懸命踊る姿に、この春からの大きな成長を感じたところです。

2年生の劇『まんげつおどり大会』は、セリフをしっかり覚え、表情や動きを付けながら動物の役になり切って上手に演じました。キレのあるダンスも見ごたえがありました。



4年生は劇『青龍寺川を作った工藤かもん物語』を発表しました。たくさんの役割を12人で分担し、4年生のチームワークの良さを発揮しながらのとても素晴らしい劇でした。

5年生は、10月の音楽交流会から更にパワーアップしたミュージックベル奏と合唱2曲を披露しました。高音部・低音部に分かれてのきれいなハーモニー、10人が心をつなげたミュージックベルの音色、とても素敵な発表でした。

最後を飾った6年生の劇『杜子春』は、さすが6年生と感じさせる見ごたえのある発表でした。14人一人ひとりが役になり切って演じ、道具の出し入れや幕の開け閉めなども分担しながら、『杜子春』の世界を見事に表現することができました。

ふれあい祭終了後に、創立60周年記念式典を開催しました。工藤治樹同窓会長様よりお祝いの言葉を頂戴し、記念品（図書室のバーコード機器）の目録贈呈を行い、6年佐藤凜斗くんが児童代表でありさつをしてくれました。最後に『飛び出そう！わんぱくワールド』を全校で合唱しました。参加していただいた皆さんと共に祝うことができたこと、大変うれしく思ったところです。



今年は、多くの方々から会場にお越しいただき、子ども達の発表にたくさんの温かい拍手をいただきました。何よりの励みになったことと思います。心より御礼申し上げます。

校長 岡部 貞二